

会員数 37,779 (前月比) + 12

郵送 9,011 (前月比) + 65

手配り 26,169 (前月比) + 51

協同基金到達額 2,547,352,000円(10/31現在)

[前月比 14,140,000減]

協同基金出資者数 15,996名(10/31現在)

いのちを守る助け合い募金額 27,119円(10/1~31)



ふくいすみ支部訪問行動



和泉プロツク訪問行動



耳原鳳クリニックでの玄関前行動



みみはら高砂クリニック玄関前行動

職場では、総合病院リハビリ室が11月12日の統一訪問行動へ8人が参加し、同じ日に歯科診療所からは医師3人を含む14人が訪問行動へ参加しました。

若手職員の感想では、「地域の高齢化がすんでいると感じた」「苦情が聞けて良かった」「訪問のお宅の対応が非常に良かつた」など、訪問することによって地域を知るきっかけとなっています。

また、会員とペアでまとまることで「はじめて参加して勉強になり、いい経験になった」と会員と仲良くなつた若手職員もありました。

そんな中で、9条改憲反対の署名と核廃絶を求める署名では、「9条や核廃絶の署名内容の理解がひろがっていない印象を受けた」との感想もあり、今後、会員や利用者や地域の方へ大きく宣伝していく必要があります。

みなさんのご協力をよろしくお願いします。

(友の会事務局)



西区の懇談

10月の1ヶ月間で、堺市の7つの区役所と懇談をおこないました。市民団体など延べ97人、友の会・同仁会からは延べ31人が参加しました。

各区との懇談では、「国保の医療費一部負担の減免制度」について、昨年度の収入より30%減の条件では、低い所得のままの人が利用できない問題などを指摘しました。

地域からは、認知症によるトローブになっているケースの解決を求める声や、高い介護保険料への怒りの声なども出されました。

堺区独自の取り組みで、高齢化による「ミ出し問題」の解消として、申請すればボリバケツに入れて出すことも可能など、区役所より紹介されました。

今回の各区懇談で、美原区や北区では子育相談が増えており、特に北区では虐待通告がもつとも多くなっていることや、東区内では「子ども食堂」の申請がない状況、各区で障害者施策について把握できていないことなどがわかりました。

地域の状況を伝える大事な懇談となりました。ご参加された会員の皆さん、ありがとうございました。(事務局)

堺市区役所キャラバン

(堺社会保障推進協議会)

地域の状況を伝えるとりくみ



北区の懇談

聴診器

本（小説が多い）を夜中まで読むと眼が疲れて痛いので、眼科受診をする。耳原鳳クリニックで眼科受診をした。健診で眼鏡をかけても視力が出ないので、遠視がきついて緑内障にもなりやすいから白内障の手術をした方が良いでしょうとの診断で、早速、日帰り手術を予約した。片目20分、両目で40分の手術、局所麻酔。麻酔の目薬がしゆみますよと聞いていた。手術の経験者数人に話を聞いて怖がらなくてコチコチ。ひたすら早く終わって!と願いながら40分を我慢。両目に透明のカップをかぶせテープで貼り付けてもらい、白目のパンダのようになった。散瞳と眼軟膏で眼が霞み、まるで「濃霧の中」。看護師さんに手を引いてもらつてタクシへ。翌日は晴天だった。空の色がピンクがかった青に火もピンクがかつた青に見えていることなのだろう。「具合の悪くなつた部品を取り替えて」眼鏡がなくても包丁が使えるようになり、映画館でもよく見えるようになった。山歩きも足下がよく見えない。人生100年時代、まだ30年もある。大いに楽しむぞー。(山上佳代子)